



別府中学校で茶摘み体験

■ 4月24日、別府中学校の全校生徒63人が農研機構果樹茶業研究部門で茶摘み体験を行い、約68kgの茶葉を収穫しました。後日、茶葉はせん茶に加工され、学校と生徒それぞれに届けられました。



高校生が市内で献血を呼びかけ

■ 4月14日から4月24日までハート献血が実施され、4月19日には、ボランティアとして鹿児島水産高校および鳳凰高校合わせて6名の生徒が参加し、献血を呼びかけました。



69歳の高校生、子ども食堂に学ぶ

■ 4月26日、鹿児島水産高校食品工学科2年の鮫島耕児さんが、課題研究へ向けた準備の一環として、子ども食堂「にんぎまんま」の活動に参加しました。鮫島さんは「和気あいあいとした雰囲気の中で、楽しく活動できました。今後も引き続き参加し、課題研究につなげていきたいです」と話しました。



かつお公社マルシェを開催

■ 5月3日、今年設立50周年を迎えるかつお公社が、かつお公社マルシェを開催しました。会場ではキッチンカーやマルシェが多数出店し、また、かつお重さ当てクイズなどのイベントも開催され、多くの人で賑わいました。



生徒会主催による交流戦を開催 ～枕崎高校と鹿児島水産高校が学校間交流

4月25日、総合体育館および市営野球場において、恒例となった枕崎高校と鹿児島水産高校による学校間交流が行われました。

総合体育館で生徒間交流のレクリエーションを行った後、市営野球場へ舞台を移し、外野ステージでの両校の書道部によるダイナミックな書道パフォーマンスや、野球部の気迫あふれる熱い交流戦に大きな歓声が上がりました。



薩摩青雲丸出港式 ～実習生の出港を在校生、保護者が見送る

5月14日、枕崎港外港東側岸壁で、薩摩青雲丸第1次航海出港式が行われました。鹿児島水産高校の実習船「薩摩青雲丸」が専攻科1・2年の実習生22名を乗せて、航海実習に出港しました。

式では、実習生代表あいさつや花束贈呈などが行われ、在校生や保護者など多くの人が見送りました。

実習生は、フィリピン沖ではえ縄漁などの実習を行い、神奈川県三崎港など6カ所に寄港しながら7月7日に帰港する予定です。



100歳の誕生日を迎えました ～岩尾ミチさん、揚村清子さん

4月20日に、2名の方が100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

①岩尾ミチさん(寿町・4月20日)

枕崎市出身の岩尾さんは、若い頃は着物、縫い物をしていました。趣味はゲートボールで、長生きの秘訣は「冬でもげたを履いて過ごしていたこと」と話します。

②揚村清子さん(旭町・4月20日)

枕崎市出身の揚村さんは、5人の子どもの恵まれ、若い頃はかつお節製造をしていました。趣味は水墨画と大正琴で、長生きの秘訣は「おらかな心を持って日々を過ごすこと」と話します。

皆さん、これからも元気で長生きしてください。



子どもたちの元気な声響く ～第40回こどもの日かつおまつり

「第40回こどもの日かつおまつり」が5月5日、地場センター周辺で行われました。

メインステージでは、恒例のかつお一本釣り大会やかつお節削り大会、かつお節パックつかみ取り大会が行われ、幼児から中学生まで多くの子どもたちが参加し、大いに盛り上がりました。

また、会場では、ハーモニーネットワーク委員会による茶節のふるまいやカツオの腹皮の唐揚げの販売のほか、今回初出店した、友好都市である北海道稚内市とのコンカツプロジェクトによるホタテ焼きやつぶ煮の販売に多くの行列が並んだほか、南薩地域の特産品を中心としたさまざまな出店があり、来場者は楽しい連休のひと時を過ごしていました。



薩摩リフターズ県大会で本市選手が2階級制す ～第24回鹿児島県パワーリフティング選手権大会

4月20日、三儀山総合体育館(奄美市)で開催された、第24回鹿児島県パワーリフティング選手権大会において、枕崎で活動する薩摩リフターズの2名の選手が出場し、74kg級、83kg級でそれぞれ優勝しました。

薩摩リフターズは昨年度の同大会にも出場し、本市選手が3階級を制す優秀な成績を収めており、本大会で全階級の最優秀選手となった味園恵さんは、今年、滋賀県で開催される国民スポーツ大会に出場予定です。